

研究の概要

1 研究主題

自ら考え判断し、行動できる児童の育成
～防災教育を通して～

2 主題設定の理由

本校の児童は、登校してすぐ外で活発に遊ぶなど元気があり、友達同士でも挨拶を交わすなど明るい子どもたちである。指示されたことや与えられた課題には、真面目に取り組むことができる。しかし、自主的に行動することが弱く、自分の思いをうまく表現できなかつたりする面も見られる。そこで、将来を見据えて自立心を形成し、主体的に判断し行動できる児童を育てていく必要がある。

学校が建っている下田地区には、四万十川の海の玄関口である下田港がすぐ近くであり、本校の校庭の海拔は3,9mという低い位置にある。そのため、地震が起こったときには津波などの災害被害が予想される。一昨年の3.11東日本大震災では、実際に近くの下田中学校に避難した経緯がある。このような実情から、児童一人ひとりが自分の命は自分で守ることを徹底させるとともに、家庭・地域・関連機関と連携した防災活動・防災教育・避難訓練など早急な防災対策が必要である。

そこで、本年度は「自ら考え判断し、行動できる児童の育成～防災教育を通して～」という研究主題を設定した。家庭や地域とのつながりを大切にしながら、全教育活動を通して、主体的に判断し行動する児童をめざして研究を進めていきたい。

3 研究主題具現化の視点

「自分の命は自分で守る」「人を思いやり助け合える」子どもを目指して

(1) 防災教育を通して

- ・防災体制づくり、防災マニュアルの見直し
- ・研究授業（他教科、領域とも関連づけて）
- ・様々な場面を想定し、地域と連携した避難訓練
- ・防災意識を高める取り組み
- ・1年間の研究のまとめとしての研究発表

(2) 基礎学力と仲間づくり

- ・基礎基本の定着
- ・縦割り班を活用した取り組み
（上級生のリーダー性・思いやり）
（異年齢集団での関わり）
- ・人権・道徳教育への取り組み